

第3回 市町村における災害復旧事業の円滑な実施のためのガイドライン検討会 議事要旨

日時：令和4年3月22日（火）10：00～12：00

場所：中央合同庁舎2号館 国土交通省第1会議室（WEB開催）

■各委員からの意見

- ・CM方式の導入にあたっては費用確保が課題となるため、財政支援の方法について、今後議論を深める必要がある。
- ・査定時の緊急順位と現地の優先順位が異なる場合もあるので、弾力的な運用が出来るような仕組みの検討が必要。
- ・ガイドラインの作成・周知に加え、ポータルサイトの充実やeラーニングによる研修・講習の実施等、デジタル技術を活用した災害対応力の底上げについても記載して欲しい。
- ・ガイドラインの「緊急度に応じた契約方式の選定」に、“合冊による発注ロットの拡大”や“現場代理人要件の緩和”など、「不調・不落対策」もあわせて記載してはどうか。
- ・ガイドラインに、平時の取組や準備すべき事項を記載してはどうか。
- ・随意契約の方法や事例等が確認できるようなものとして欲しい。

以上